



主要国の大臣等が集まり、世界の重要な課題であるエネルギーについて討議する「G7北九州エネルギー大臣会合」が、北九州市で開催されました。国内外からの注目を集める今回の会合の開催により、本市の環境・エネルギー政策を広く発信することができました。



1 日程 平成28年5月1日(日)～平成28年5月2日(月)

2 参加者 G7(加、仏、独、伊、日、英、米)、
EU、IEA(国際エネルギー機関)、
IRENA(国際再生可能エネルギー機関) 大臣・代表 10名
G7各国・関係機関 随行者 78名
経産省・福岡県・北九州市関係者等 約180名
報道関係者 約200名
計 約468名

3 場所

■本会合、レセプション リーガロイヤルホテル小倉4Fロイヤルホール



■展示 リーガロイヤルホテル小倉4Fホワイエ、AIM3F展示場(プレスセンター隣接)



■呈茶、ワーキングディナー 西日本工業倶楽部(国指定重要文化財)



■エクスカーショ-1 (G7各国・EU等関係機関 大臣・代表)
小倉城、八幡東区東田(スマートコミュニティ、水素タウン)、安川電機



エクスカーショ-2 (G7各国・関係機関 随行者向)
TOTOミュージアム、日明浄化センター、小倉城、小倉城庭園(呈茶)



4 共同声明

グローバル成長を支えるエネルギー安全保障のための北九州イニシアティブ

「グローバル成長を支えるエネルギー安全保障」を大きなテーマに据え、世界の成長に向けた「エネルギー投資の促進」、エネルギーを巡る市場や地政学的な変化を踏まえた「エネルギー安全保障の強化」、そして、COP21後初のG7エネルギー大臣会合として、その成果を受けた「持続可能なエネルギー」について議論を行い、共同声明を取りまとめられました。なおこの議論の結果は、G7伊勢志摩サミットに報告され、首脳間の議論の基盤となりました。

共同声明「北九州イニシアティブ」には、未来を担う地元の学生たちがエネルギー・環境について研究・討議したユースエネルギーサミット北九州の成果が盛り込まれました。



歓迎レセプションの会場で、各国代表者が参加する中、学生の代表が林経済産業大臣に報告書を手渡しました。

5 大臣会合実施の効果

経済波及効果 3億9,522万円

パブリシティ効果 5億3,901万円